



## カーミージー橋



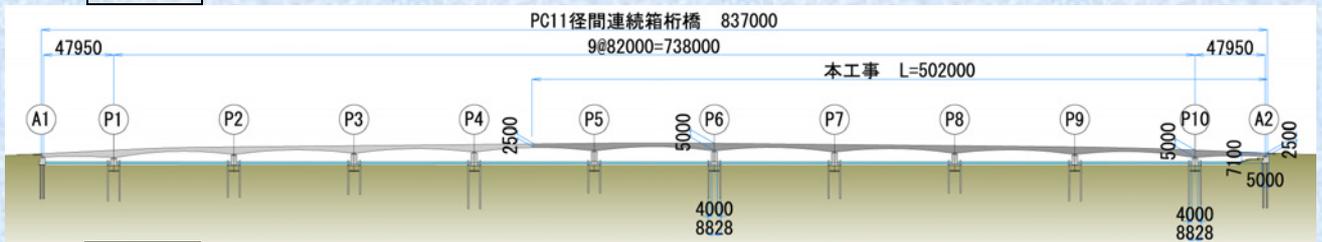
カーミージー橋（工事名：西洲陸側橋梁）は、延長約2.5kmの浦添市港川～西洲における臨港道路（浦添線）の一環として建設された橋梁です。臨港道路（浦添線）は、沖縄県の拠点港である那覇港から県中北部方面への物流機能を強化し、圏域の経済及び産業活動を支援するとともに、国道58号等の周辺道路とのネットワークを形成することにより県中南部地域の渋滞緩和に寄与する目的として計画されました。

本橋の構造形式は、橋長837.0mのPC11径間連続箱桁橋であり、当社はP5～A2の延長502mの区間を担当しました。

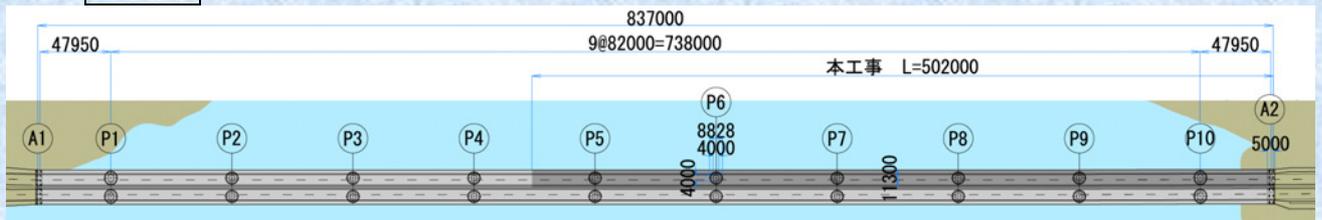
本工事は、塩害地域である沖縄県の海上橋であることから、コンクリートの品質確保を目的として、大型架設作業車を用い施工数を低減する工法を採用しました。また、地覆・壁高欄施工時における安全確保を目的として、埋設型枠を用いた壁高欄の無足場施工工法を採用しました。

### ◆一般図

側面図



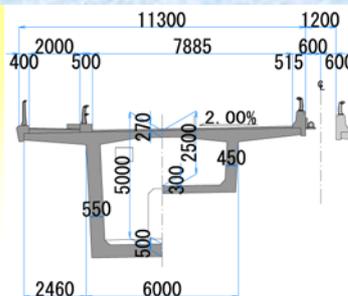
平面図



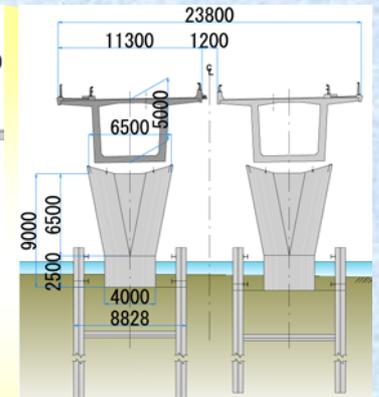
### ◆橋梁諸元

工事名：那覇港（浦添ふ頭地区）臨港道路（浦添線）西洲陸側橋梁上部工工事  
 発注者：沖縄総合事務局 開発建設部  
 設計者：パシフィックコンサルタンツ(株)  
 位置：沖縄県浦添市西洲～空寿崎地先  
 道路規格：第4種第1級  
 形式：PC11径間連続箱桁橋  
 荷重：B活荷重  
 橋長：837.0m(48.0+9@82.0+48.0m)  
 総幅員：11.3m(有効幅員 車道：7.75m 歩道：2.0m)  
 架設工法：張出し架設工法  
 PC鋼材：主方向：SWPR7BL 12S15.2（ディビダーク工法、内ケーブル）  
 横締め：SWPR19L 1S21.8（SM工法、プレグラウトタイプ）

断面詳細図



断面図



◆構造・施工概要

- 1) 張出し架設には大型架設作業車を用い、施工ブロック長を最大 4.5m にすることで、ブロック数を10から7ブロックに低減し、打継目箇所の低減を図りました。
- 2) 柱頭部など少容量でもマスコンクリートとなる部位の温度対策として、グラウトホースなどを利用した簡易配温式パイプクーリングを配置しました。
- 3) 架設作業車内で地覆・壁高欄の外側型枠にプレキャストコンクリート製の埋設型枠を使用することにより、地覆・壁高欄施工時における足場を不要としました。これにより、高所作業となる地覆・壁高欄足場の組立・解体作業時における墜落・転落災害のリスクを低減しました。



架設全景



柱頭部パイプクーリング配置



地覆埋設型枠設置

◆工程表

項目	平成23年			平成24年												平成25年												平成26年										
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
準備工	■																																					
柱頭部				■												■																						
架設作業車組立							■									■			■			■																
張出し架設				■												■																						
中央連結部																■									■			■										
架設作業車解体																■									■			■										
側径間支保工部																■									■			■										
仮固定開放																■									■			■										
橋面工																												■										
片付け工																																				■		